

鎮守府

愛と闇のキメセク録



成人向同人誌

キメセク【PnP】[名](スル)

麻薬、中でも性的快楽の増幅作用が強い

SEX DRUG類を^キ_メ使用した^たセックスのこと。

艦娘や深海棲艦に作用する物も、様々な需要から
幾度にわたる研究(実験)の未開発されている。

これはそれを使う提督と艦娘の物語。

注記 E&Eは現実世界での薬物乱用に反対します。

麻薬、ダメ、ゼッタイ。



Q. キメセクの魅力とは?

A. タイムマシンのような時間の超越。
精神的繋がりを求める心、
開発が要る性感帯……

いいえ、折角ですが
訓練が有りますので。
潮、着任しました。

本来必要なそれらを飛び越え、
楽しむことができる。

まー／＼ツツツ
ああああああああ
ああああああああ

イグイグイグツツ!!



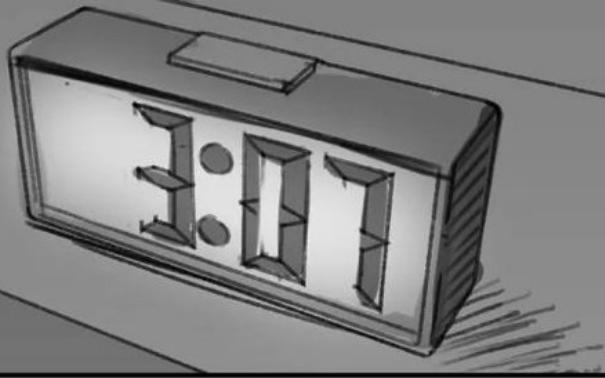
その楽しみ方がしている。
考えた結果が、何に例えるべきか……
「寝取らせ」だつた。

幸楽分君例えだよ、たとえ。
いしからどう感じがじるかは
いだんでないが……
もうえれば、



鎮守府 愛と闇のキメセク録

まだ
3時か
…



寝る前も
やつたのにな。

さうん

…

そのくらいの方
喜ぶからな
…

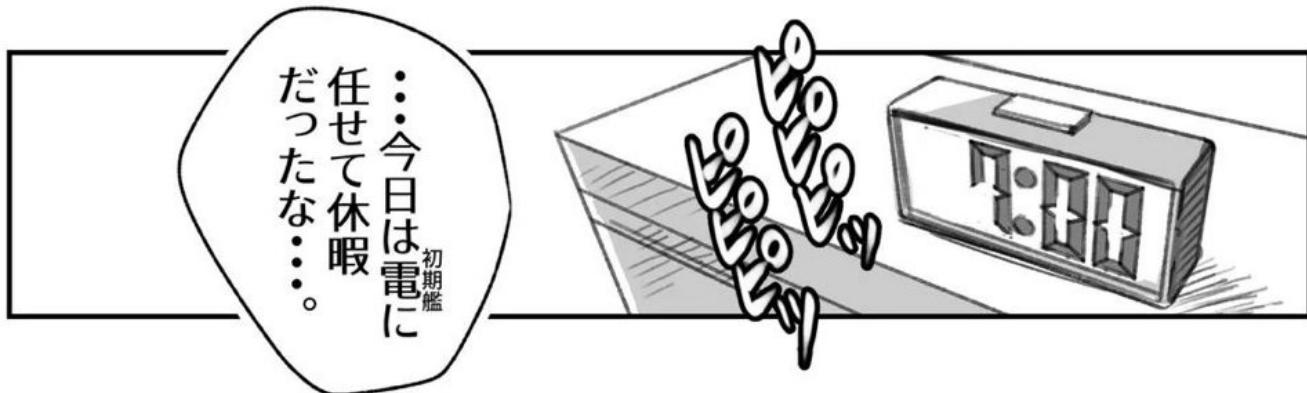
乾いてきて
だろうが、
る









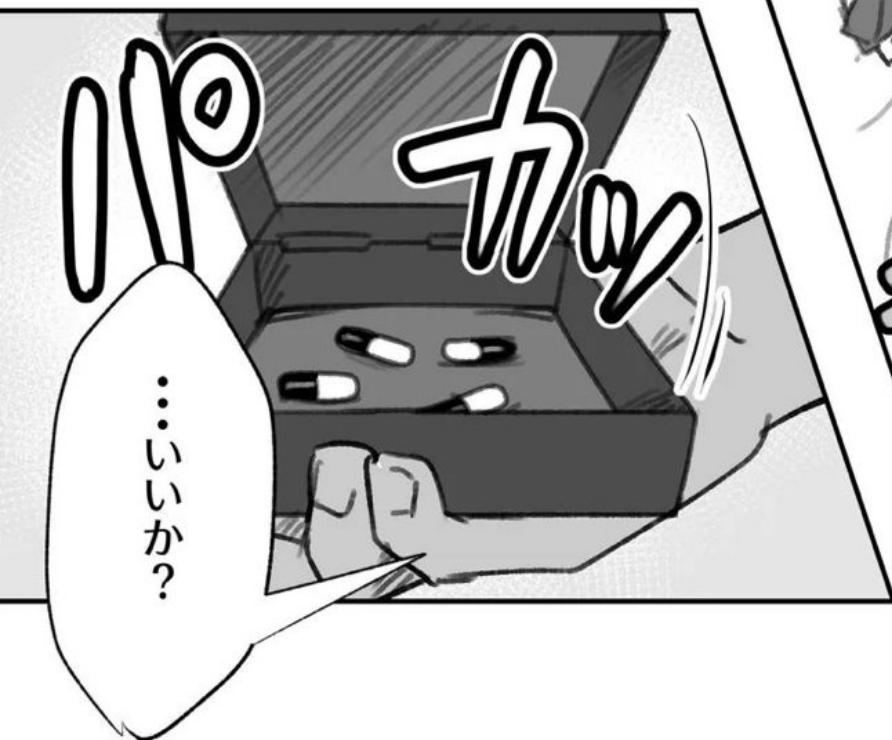


うん…、
でも、その。

ゆっくりするか？

うん。
雨だし、ね。

時雨はどこか、
行きたいところは、
ないのか？







時雨に飲ませたのは、
艦娘用で一番強力な媚薬。





何粒で時雨が媚薬に墮ちるかという遊び。
2粒目では、こちらを提督とも呼べなくなる。
だがおもちゃを与えて、嫌がり使わない。
『私以外を入れたくない』と。
愛おしい。
まだ時雨は私のものだ。
だが、3粒…







媚薬を投与された艦娘の膣内は、まるで独立した生き物のように、激しく動き、マラに纏わりつき、絞つてくる。

たくさん、
でたね。・

三
九
四

まだ、ここまで倒錯した愛の時間。



3錠目の時雨は
性的快楽を感じるだけの
生き物だ。

私だけのものと
言っていた脣に、
時雨自身がバイブを
激しく叩き込んでいる。

いま、ここに
私以外の男がいたら、
間違いないなく、躊躇もなく、

時雨から股を開き、
受け入れるだろう。

勃つ。





痛みでさえ数倍の
快樂に変換され、
時雨を絶頂に追いやる。

今の時雨は、私のものでも
彼女自身のものでもない。
薬、性欲、淫欲のものと
なっている雌だ。

ああ、興奮する。

終には、押し寄せる快楽に
脳が焼き切れ、…逝く。

だがその後も時雨の体は
快樂を求める、膣が激しく
うねり続ける。

私は逝つてしまつた時雨の体を、
気が済むまで使い続けた。



Thank you!

Eckert Eich







Thank you!

Eckert Eich